

ソフトボール楽しい

熊野市 小学校などで体験会

【ボールを打つフォームを教える平木さん】



【バッティング練習を楽しむ児童】

所くまのつ子学童くらぶでソフトボールの魅力を伝える体験会を行ってきた。

16日は五郷小学校で体験会を実施。保育所ではボール投げやバッティング体験が中心だったが、五郷小では1年生から6年生までの児童11人が実際に試合形式も楽しんだ。



【ソフトボールを体験した五郷小の子どもたち】

打てている。バッティング中心の特別ルールで打むくは、従来の合形式では、児童たちが名簿で展開 9対9で迎えた最良回では低学年児童も試合をサヨナラヒットで期待させる盛りに上がっている。児童さんには少しもフットボールを重た体験ができ、また、この団体をやっているたを覚えていた。

大物手にニツコリ

五郷小児童が芋ほり

熊野市の五郷小学校(上林和弘校長)で11日、サツマイモの収穫作業が行われ、児童ら11人が芋ほり



【学校畑でツルを引っ張り土を掘り収穫】

に農業に関する理解を深めてもらう事を目的に、毎年、学校畑など、サツマイモを育てている。今年は6月に苗を植え、児童たちが水やりなど手入れをしながら、学校畑は酷暑対策のため全面を覆った。

収穫の日を迎えた11日は児童代表し、外原雄雄君が大きな小さないのが出てくるはわかり頭振りながら、頑張ってせんがみんと呼びかけた。先生から作業の説明を受けた児童たちは、さつまいもを組む早にグループに取り掛かり、サツマイモは地域の味を招いている収穫祭で使用されるが、今年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から多くの人が集まる収穫祭は中止、21日の授業参観の日には保護者と一緒に焼き芋大会を行うという。

例年なら収穫した

機に励んだ、マルチシートと蔓を剥がし、土を振り起こす」と成長したサツマイモがゴロゴロ、児童たちは「これはいつまでも収穫できる」と話しながら、大きなイモがとれるようにしている。

【サツマイモを手にする児童】



【サツマイモを手にする児童】